

温暖化対策 CDM/JI 事業調査 シンポジウム 2010

国連気候変動枠組条約の京都議定書には、先進国の温室効果ガス削減目標を達成するための柔軟性措置として、「クリーン開発メカニズム(CDM)」や「共同実施(JI)」などの制度(京都メカニズム)が規定されています。

環境省では、1999年度からCDM/JI事業調査を実施し、我が国の目標達成に寄与するプロジェクトを発掘・支援するとともに、CDM/JIに関する知見を蓄積してきました。今年度からは次期枠組みの下で導入される可能性がある新たな柔軟性メカニズムについても、実現可能性調査を通じて経験・知見を集積します。

このシンポジウムでは、我が国の事業者による CDM/JI 等のプロジェクトの開発・実施を支援するため、COP15 のコペンハーゲン合意を踏まえた国際交渉の動向(次期枠組みでの CDM/JI 制度の改善・発展、及び新柔軟性メカニズムの導入を含む)を紹介します。また、2009年度 CDM/JI 実現可能性調査の結果報告を通じて、現行制度の下での CDM プロジェクト形成に向けた課題を掘り出し、次期枠組みの下でどのようにそれらの課題が解消され得るのかについての展望を示し、2013年以降の次期枠組みの下での新たなパラダイムと其中での CDM/JI 制度の改善・発展に関する議論を行います。

参加費無料 (事前にお申込ください)

《東京会場》

日時 2010年9月1日(水)
13:30~17:00 (12:30 受付開始)
会場 砂防会館別館 シェーンバッハサポール
1階 淀・信濃
東京都千代田区平河町2-7-5
定員 500名

《大阪会場》

日時 2010年9月2日(木)
13:00~16:30 (12:00 受付開始)
会場 大阪歴史博物館
4階 講堂
大阪市中央区大手前4-1-32
定員 200名

東京会場アクセス



●東京メトロ「永田町駅」(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口より徒歩1分。

大阪会場アクセス



●大阪市営地下鉄「谷町四丁目駅」(谷町線・中央線)9番出口すぐ

ご来場には公共交通機関をご利用ください



主 催 : 環境省、(公財)地球環境センター(GEC)
後援(大阪会場) : 大阪府、大阪市 (予定)



東京会場 プログラム

9月1日(水) 13:30~17:00 (12:30 受付開始)

今後の新たな柔軟性メカニズムのあり方について

環境省市場メカニズム室長 上田康治

温室効果ガス排出削減量の測定・報告・検証に係るガイドライン(J-MRV ガイドライン)

(株)日本政策金融公庫 国際協力銀行(JBIC)
環境ビジネス支援室 室長 本郷尚

新柔軟性メカニズム案件の実現可能性調査の実施

(公財)地球環境センター(GEC) 元田智也

2009年度 CDM/JI 事業調査報告

(1) 兼松(株)

「ブラジル・マトグロッソ州における森林減少・劣化からの排出削減(REDD)事業調査」

(2) 東急建設(株)

「タイ・チョンブリ県・ラムチャバン廃棄物最終処分場における準好気処理 CDM 事業調査」

(3) 東北電力(株)

「タイ・ナコンサワン県砂糖・エタノール工場における廃水バイオガス発電及び有機廃棄物コンポスト化 CDM 事業調査」

(コメンテーター)

- ・平石尹彦((財)地球環境戦略研究機関 理事)
- ・明日香壽川(東北大学東北アジア研究センター 教授)
- ・本郷 尚((株)日本政策金融公庫 国際協力銀行 環境ビジネス支援室 室長)

ディスカッション

(敬称略)

大阪会場 プログラム

9月2日(木) 13:00~16:30 (12:00 受付開始)

今後の新たな柔軟性メカニズムのあり方について

環境省市場メカニズム室 室長補佐 河村玲央

温室効果ガス排出削減量の測定・報告・検証に係るガイドライン(J-MRV ガイドライン)

(株)日本政策金融公庫 国際協力銀行(JBIC)
環境ビジネス支援室 室長 本郷尚

新柔軟性メカニズム案件の実現可能性調査の実施

(公財)地球環境センター(GEC) 元田智也

2009年度 CDM/JI 事業調査報告

(1) 三洋電機(株)

「ウガンダ・家庭用太陽電池付 LED ランタン普及プログラム CDM 事業調査」

(2) 清水建設(株)

「シリア・アンモニア製造プラントのテールガスによるエネルギー利用 CDM 事業調査」

(3) 日本テピア(株)

「中国・重慶市における小規模セメント工場余熱回収発電プログラム CDM 事業調査」

(コメンテーター)

- ・平石尹彦((財)地球環境戦略研究機関 理事)
- ・明日香壽川(東北大学東北アジア研究センター 教授)
- ・本郷 尚((株)日本政策金融公庫 国際協力銀行 環境ビジネス支援室 室長)

ディスカッション

(敬称略)

■参加申込方法

参加希望会場、氏名、所属団体名、連絡先(電話番号、Eメールアドレスなど)をご記入の上、下記申込先まで(ホームページから、もしくはEメール、FAXにて)お申し込みください。尚、参加証・登録証は発行しませんので、あらかじめご了承ください。各会場とも、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

申込・問合せ先: (公財)地球環境センター「CDMシンポジウム」係 (申込締切:8月27日(金))

ホームページ: <http://gec.jp/jp> Eメール: cdm-fs@gec.jp TEL: 06-6915-4122 FAX: 06-6915-0181

※本シンポジウムでは、資源節約のため、当日の講演内容資料(印刷物)の配布は行いませんのでご了承ください。

講演内容資料は、シンポジウム開催までに上記ホームページに掲載しますので、そちらをご利用下さい。

※申し込んだ際に収集した個人情報は、本シンポジウムに関する事務連絡及び翌年度の案内送付にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。

温暖化対策 CDM/JI 事業調査シンポジウム 2010 参加申込書(FAX 送信用)

FAX: 06-6915-0181

○ 参加希望会場: 東京 大阪

○ 氏名(ふりがな): _____ (_____)

○ 所属団体、部署: _____

○ 連絡先: _____

TEL FAX Eメール